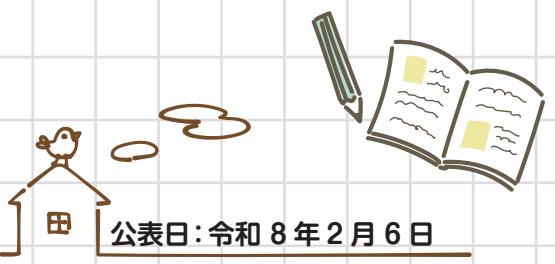


令和7年度

COMPASS 発達支援センター松山

事業所における自己評価総括表(公表)



公表日：令和8年2月6日

○事業所名	COMPASS発達支援センター松山		
○保護者評価実施期間	令和7年 9月 10日	～	令和7年 9月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)
○従業者評価実施期間	令和7年 9月 5日	～	令和7年 9月 16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数)
○訪問先施設評価実施期間	令和7年 9月 10日	～	令和7年 10月 11日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 10月 18日		

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援の充実) COMPASSでは全国に事業所を展開しており、横つながりが強く、定期的に全事業所で会議を実施し、情報共有をおこなうことで、適切なアドバイスを受けることができております。	COMPASSでは保育所等訪問支援の意識を高めるため、専門性のある職員の知識と経験を活かし、事例やアプローチなど社内で定期的な勉強会を実施しております。	引き続き事業所間のつながりを大切にし、勉強会や情報の共有・交換などをおこない、職員の更なるスキルアップを目指してまいります。
2	多職種（事業所に所属している専門職員等）の視点から 助言や支援をおこなっております。	多職種の職員と情報共有をおこない、支援会議を開催できる体制を整えております。	専門知識を取り入れたアドバイスや助言をおこない、支援がおこなえるよう努めております。
3	対象児について、保護者様や先生方と支援の方向性を しっかりと話し合えております。	訪問時の気づきは早くお伝えできるよう心がけております。 また、それぞれに聞いた話は両者で共有できるよう努めています。	三者で話し合える機会の提供をおこなえるよう努めています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童発達支援管理責任者との連携が取りづらい状況があります。	児童発達支援管理責任者と訪問支援員との両者での訪問がしづらい環境であります。	児童発達支援管理責任者も初回訪問以外にも経過観察として訪問に参加できるように声かけをおこないたいと考えております。
2	新しい相談支援専門員との交流が薄い状況があります。	保育所等訪問のみの業務であるため、相談支援専門員と話す機会が少ない環境であります。	積極的に交流できる場をつくれるよう努めています。
3			

